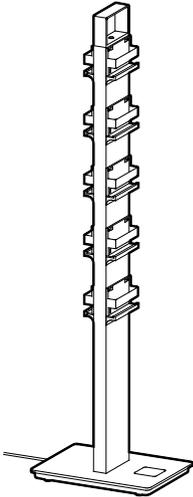


カネカ有機EL照明 KANEKA LUCE T1用バッテリーチャージャー

KANEKA LUCE F2-WH/BK/BZ/MS

取扱説明書



安全にお使いいただくために	p. 2
1 本体と付属品の確認	p. 8
2 各部の名称	p. 9
3 本製品の設置	p. 10
4 操作方法	p. 16
5 お手入れについて	p. 21
6 故障かなと思ったら	p. 22
7 製品仕様	p. 23
8 保証とアフターサービス	p. 24

お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本製品は別売のKANEKA LUCE T1を取り付けて使用する製品です。ご使用に際してはKANEKA LUCE T1の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本製品のご使用に際しては、本書に記載された使用条件、および安全上のご注意を遵守願います。本書に記載の内容を逸脱した本製品の使用に起因する損害に関しては、弊社は一切その責を負いません。
- 必要なときにすぐ参照できるよう、取扱説明書をお手元に保管してください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止（してはいけないこと）を示します。	 指示に基づく行為の強制（実行していただくこと）を示します。
---	--

警告

-  発煙や異臭、電源コードの変形や電源プラグが発熱した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
発煙、発熱などがおさまったことを確認して、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  次のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 内部に水や異物が入ったとき
 - 破損したときそのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  ACアダプタと本体との接続には付属のDC線を使用してください。
ACアダプタのDCプラグは本体のDCジャックに適合しません。
本体のDCジャックには必ずDC線のDCプラグを差し込んでください。
確実な接続ができないケーブルを使用すると、器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。
器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  器具は、説明書にしたがって、正しく組み立て、設置してください。
組み立てや設置に不備があると火災、感電、転倒によるけがのおそれがあります。
-  交流100Vで使用してください。
過電圧を加えると、火災、感電の原因となります。
-  結露しないように使用および保管してください。
感電、ショート、破損の原因となります。

-  **屋外への設置、使用はしないでください。**
水濡れなどによる感電、ショート、火災の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。
-  **組み立て、設置中に破損した本体、付属品は使用しないでください。**
破損したまま組み立て、設置すると、火災、感電、転倒によるけがのおそれがあります。
-  **電源プラグにほこりなどがたまった状態で使用しないでください。**
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。また、接触不良による故障の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
-  **電源プラグは、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。**
確実に差し込んでいないと、感電や発熱による火災のおそれがあります。
-  **お手入れは電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。**
通電状態で行うと、感電の原因となることがあります。
-  **電源コードを取り扱うときは、次のことをお守りください。**
- ・ 加工したり、傷つけたりしない
 - ・ 加熱しない
 - ・ 重いものを載せたり、ドアなどにはさまない
 - ・ 無理に引っ張ったり、曲げたりしない
 - ・ ねじれた状態で使用しない
 - ・ 束ねたりしない
- 充電部露出による感電、ショート、火災の原因となります。
-  **コンセントの定格を超えないようにお使いください。**
タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
-  **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
電源コードや電源プラグが傷つき、火災、感電の原因となります。
電源プラグを持って抜いてください。
-  **修理、改造、分解、水洗いはしないでください。**
火災・感電・破損の原因となります。
点検、調整、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
-  **水滴がかかる場所で使用しないでください。**
火災、感電、故障、破損の原因となります。
本製品は防湿・防雨対応型ではありません。
-  **ぬれた手で触らないでください。**
感電、故障、破損の原因となります。

-  **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。**
感電のおそれがあります。
-  **本製品の交換を行う場合は、電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。**
通電状態で行うと、感電、故障、破損の原因となります。
-  **燃えやすいものの近くで使用しないでください。**
火災、やけどのおそれがあります。
-  **布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。**
火災、やけどのおそれがあります。
-  **器具のすき間にものを差し込まないでください。**
火災、感電のおそれがあります。
-  **お手入れや清掃時に可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しないでください。**
清掃などで可燃性ガスを本製品に使用すると、噴射される可燃性ガスが本製品の内部に溜まり、スイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。
-  **本製品上にものを置かないでください。**
金属類や花びん、コップ、化粧品などの液体が内部に入った場合、火災、感電の原因となります。
また、転倒した場合、けがの原因となります。
-  **周辺温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。**
絶縁不良・火災・感電の原因となります。
-  **ACアダプタおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。**
故障、破損の原因となります。
-  **高温になる場所（直射日光のあたる場所、ストーブのそばなど）に設置しないでください。**
火災、感電の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。



注 意

-  **定期的に点検してください。**
点検せずに長期間使い続けると、まれに火災・感電、障害による思わぬけがのおそれがあります。
照明器具には寿命があります。設置して5年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検時に不具合が発見された場合には交換を推奨します。
-  **点灯中または消灯直後に器具に触れないでください。**
点灯中または消灯直後は器具の温度が上昇していることがあり、やけどのおそれがあります。
-  **以下のような不安定な場所に設置しないでください。**
 - ・ 強度のない床面
 - ・ 平坦でない床面
 - ・ 水平でない床面本製品が転倒し、思わぬけがや物損の原因となります。
-  **長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**
電源が切れていてもわずかに電力を消費します。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
-  **お手入れの際は有機溶剤やアルカリ性、強酸性、塩素系の洗剤を使用しないでください。**
強度が低下してしまうため、破損し、感電のおそれがあります。また、変色のおそれがあります。
お手入れは乾いたやわらかい布でふき取ってください。
汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませて良く絞ったやわらかい布で汚れた部分を軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
-  **本製品にもたれかからないでください。**
破損の原因となります。また、器具の転倒によるけがのおそれがあります。
-  **ものを立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。**
器具が転倒し、破損、けがの原因となります。
他のものがからまると、予想外の大きな力が発生し、器具の転倒によるけがや破損の原因となります。
-  **KANEKA LUCE T1の取り付け／取り外しの際は、KANEKA LUCE T1のOLED発光部に触れないようにしてください。**
故障、破損の原因となります。
-  **本製品を移動する際は、取り付けたKANEKA LUCE T1を取り外してから行ってください。**
取り付けであるKANEKA LUCE T1が外れて落下した場合、けがや物損、本製品やKANEKA LUCE T1の破損の原因となります。



リモコンに使用している乾電池は、次のことをお守りください。

- ・ 指定の乾電池を使用し、【+】と【-】を正しく入れる
- ・ 充電、加熱、分解したり、ショートさせたり、火の中に入れない
- ・ [使用推奨期限] を過ぎた乾電池や、使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしない
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない

液漏れ、破裂などによって、やけどやけがの原因となることがあります。

もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科医の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

無線機器について

●機器認定について

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、使用するとき無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本体およびリモコンを分解／改造する
- ・ 本体およびリモコンに貼ってある保証ラベルをはがす

●周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品仕様上の注意

使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の省電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品もしくは「他の無線局」の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

設置についてのご注意

- ・ 本製品で使用している無線技術は、およそ10mまでの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって操作可能有効範囲は変動します。本体とリモコンとの間に障害物が入らないようにしてください。
- ・ 本体とリモコンは、無線LANが構築されている場所や、電子レンジが使用されている周辺、その他電磁波が発生している場所などに設置されると、電波干渉のため接続できなくなることがあります。電波干渉の影響を受けないように離してください。
- ・ 本体およびリモコンが発信する電波は、電子医療機器など他の機器の動作に影響を与える可能性があり、事故の原因となる場合があります。病院内、自動ドア、火災報知機などの近くに本体を設置する場合は、他の機器に影響を与えないことを確認してください。

その他のご注意

- ・ 本製品にKANEKA LUCE T1を取り付けて使用する際、KANEKA LUCE T1を強くこすらないでください。KANEKA LUCE T1の発光部は透明プラスチックを使用しているため、強くこするとキズの原因となります。
- ・ 本製品にKANEKA LUCE T1を取り付けて使用する際、屋外など紫外線が当たる場所で使用しないでください。紫外線により通常より劣化が早く進行します。
- ・ 廃棄する際は、各自治体の規定に従ってください。本器具は不燃物相当です。

1 本体と付属品の確認

本体と付属品がそろっていることを、次の表でご確認ください。不足や破損などがあった場合は、弊社または販売店までご連絡ください。

名称	数量
KANEKA LUCE F2本体	1
ACアダプタ（型名：UNI390-2437）※2	1
電源コード（型名：6WAK42722JP02P）※2	1
DC線（5m）	1
リモコン	1
単4乾電池※1	2
取扱説明書（本書）	1

※1 : 付属の乾電池は動作確認用です。

※2 : ACアダプタおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。

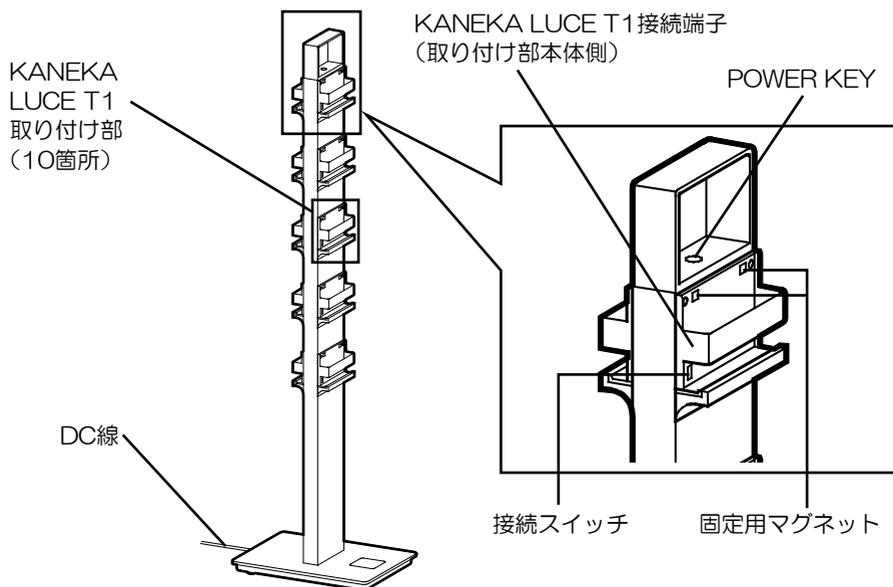
ご注意

ACアダプタおよび電源コードについて

この製品に同梱されたACアダプタおよび電源コードは、この製品以外の電気機器には使用できません。

2 各部の名称

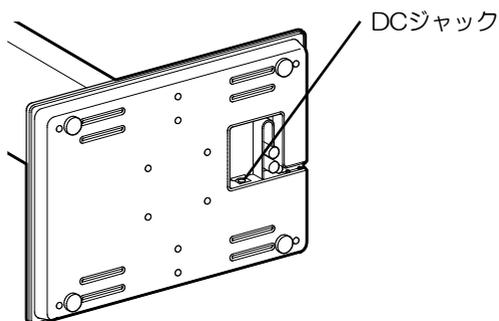
本体



ご注意

接続スイッチを直接操作したり、KANEKA LUCE T1接続端子に指や金属で直接触れたりしないでください。破損や故障の原因となります。

本体底面



3 本製品の設置

設置場所について



注意



以下のような不安定な場所に設置しないでください。

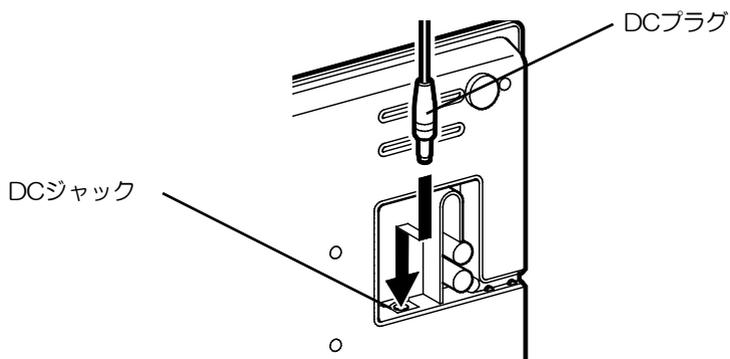
- ・ 強度のない床面
- ・ 平坦でない床面
- ・ 水平でない床面

本製品が転倒し、思わぬけがや物損の原因となります。

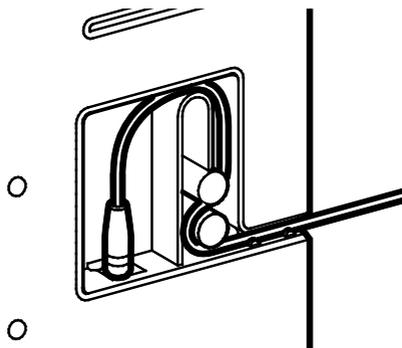
- ・ 本製品の設置には、幅280mm、奥行き200mmのスペースが必要です。
- ・ 気温 5℃～35℃、湿度 85%以下（ただし結露しないこと）

DC線の取り付け

- 1 本体底面のDCジャックにDC線のDCプラグを奥まで挿入する



- 2 溝にDC線を通す



DC線の取り付けが完了したら、本製品を設置場所に設置してください。

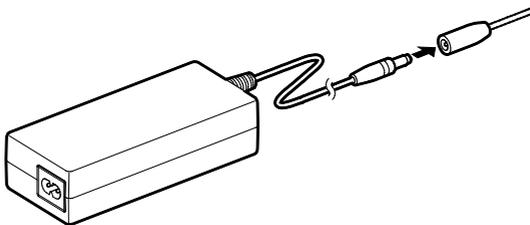
ACアダプタの接続

ACアダプタに、本体に接続したDC線と電源コードを接続し、電源コンセントに接続します。

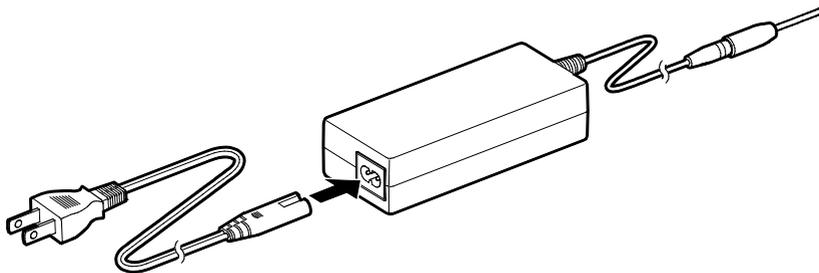


-  DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。
器具の破損、火災、感電の原因となります。

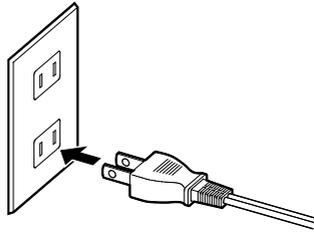
- 1** 本体に接続した側と逆側のDCジャックとACアダプタのプラグを接続する



- 2** ACアダプタに電源コードを接続する



3 電源コードをコンセントに接続する

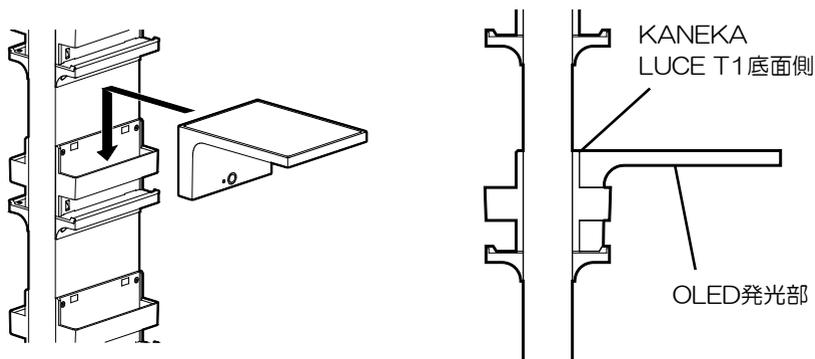


ご注意

電源コードのプラグは、奥まで確実に差し込んでください。

KANEKA LUCE T1の取り付け

- 1 KANEKA LUCE T1の向きを確認し、KANEKA LUCE T1取り付け部にゆっくりと奥まで差し込む



ご注意

- ・ 取り付ける際はKANEKA LUCE T1のOLED発光部に触れないように注意し、KANEKA LUCE T1の本体側面などをしっかりと持つようにしてください。
- ・ 無理に力を加えて差し込んだり、奥まで差し込まないうちに手を放したりしないでください。本製品やKANEKA LUCE T1の破損や故障の原因となります。

メモ

- ・ 本製品が電源に接続されている場合、正常に取り付けられ、充電がはじまると、KANEKA LUCE T1の充電ランプが点灯します。
- ・ 本製品取り付け時のKANEKA LUCE T1の明るさの設定については「KANEKA LUCE T1の明るさ設定について」(→p.21)をご覧ください。

●KANEKA LUCE T1の充電について

電源に接続した本製品にKANEKA LUCE T1を取り付けると、KANEKA LUCE T1のバッテリーが充電されます。本製品で最大10台のKANEKA LUCE T1を同時に充電することができます。残量なしから満充電までのバッテリー充電時間は約7時間です。

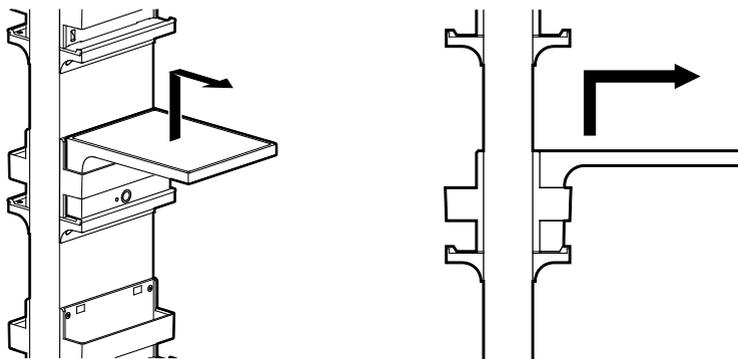
動作確認

KANEKA LUCE T1の取り付けが完了したら、本体の「POWER KEY」で、取り付けたすべてのKANEKA LUCE T1が正常に点灯/消灯すること、明るさの調節ができることを確認してください。

また、通行時に床のACアダプタやDC線などに足を引っ掛けたりしないように、整理してください。

KANEKA LUCE T1の取り外し

- 1 KANEKA LUCE T1をまっすぐ上に持ち上げ、取り付け部から完全に抜けたことを確認し、横に取り外す



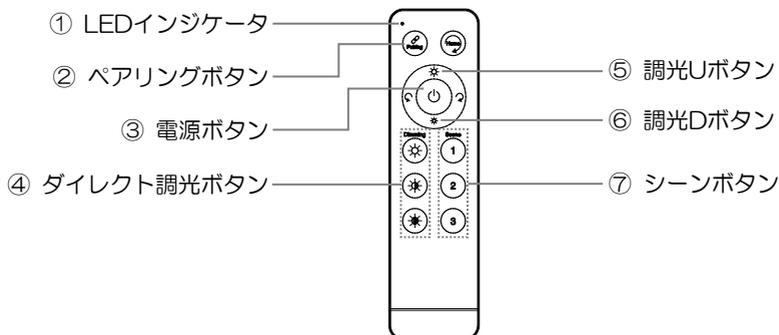
ご注意

- ・ 取り外す際はKANEKA LUCE T1のOLED発光部に触れないように注意し、KANEKA LUCE T1の本体側面などをしっかりと持つようにしてください。
- ・ 無理に力を加えたり、取り付け部から完全に抜けないうちに横に取り外そうとしたりしないでください。本製品やKANEKA LUCE T1の破損や故障の原因となります。

4 操作方法

点灯／消灯および明るさの調節は、リモコンまたは本体の「POWER KEY」でおこないます。

リモコン



ボタン名称	機能
① LEDインジケータ	操作時に点灯し、動作状況や電池状態を表示します。
② ペアリングボタン	本体とリモコンをペアリング（登録）します。
③ 電源ボタン	電源を入れます／電源を切ります。
④ ダイレクト調光ボタン	プリセット値（100%、50%、1%）の明るさにします。
⑤ 調光Uボタン	段階的に明るくなります。
⑥ 調光Dボタン	段階的に暗くなります。
⑦ シーンボタン	光の明るさを記憶／再生します。



説明のないリモコンのボタンは、本製品では使用しません。

リモコンに乾電池を取り付ける

リモコンは、市販の単4形乾電池2本を使用します。

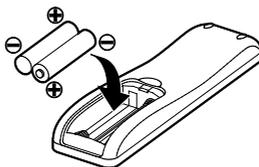


- ・ 製品付属の乾電池は、動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- ・ リモコン左上の「LEDインジケータ」が点灯しなくなったときは、乾電池の交換時期です。

1 リモコン裏側のふたを押しながら引き上げる



2 ケース内部の表示通りに【+】と【-】を合わせて乾電池を入れる



3 ふたを元に戻す



本体とリモコンをペアリングする

本体とリモコンが通信できるように、本体にリモコンを登録（ペアリング）します。



工場出荷時に同梱されている本体とリモコンとがペアリングされています。本体に付属のリモコンを使って操作するときには、ペアリングの必要はありません。

ご注意

ペアリングすることで1台のリモコンで複数台の本体を操作することもできます。このときは接続相手を持定するために、ペアリングが必要です。

- 1 本製品にKANEKA LUCE T1を取り付ける**
ペアリング完了の確認のため、KANEKA LUCE T1を少なくとも1台、本製品に取り付けてください。
- 2 リモコンの「ペアリングボタン」をリモコンのLEDインジケータが点滅を開始するまで押し続ける**
- 3 リモコンのLEDインジケータが点滅している間に、本体の「POWER KEY」を4秒以上押し続ける**
KANEKA LUCE T1の照明部分が3回点滅するとペアリング完了です。
- 4 本体の「POWER KEY」から手を離す**



- ・ リモコンのLEDインジケータの点滅は、1分間続きます。ペアリング操作を終了する場合は、リモコンの「電源ボタン」を押してください。
- ・ ペアリング完了後は、別のKANEKA LUCE F2とのペアリングを行うなど情報の更新を行わない限り、本製品への電源供給を止めたり、リモコンの電池交換を行ったりしてもペアリング情報は保持されます。

リモコンで操作する

リモコンを使って、点灯／消灯、明るさの調節、シーンの登録／呼び出しができます。

●点灯する／消灯する

点灯する	「電源ボタン」を押します。
消灯する	「電源ボタン」を押します。 次に点灯すると、前回消灯したときの明るさで点灯します。

●明るさを調節する

調光Uボタン	現在の明るさから段階的に明るくなります。 押し続けると連続して明るくなります。
調光Dボタン	現在の明るさから段階的に暗くなります。 押し続けると連続して暗くなります。
ダイレクト調光ボタン	あらかじめ設定された明るさ（100%、50%、1%）で点灯します。

●シーンを登録する／呼び出す

明るさと光の角度の組み合わせを「シーン」として、3種類まで登録できます。
リモコンの3つの「シーンボタン」に1種類ずつシーンを登録できます。

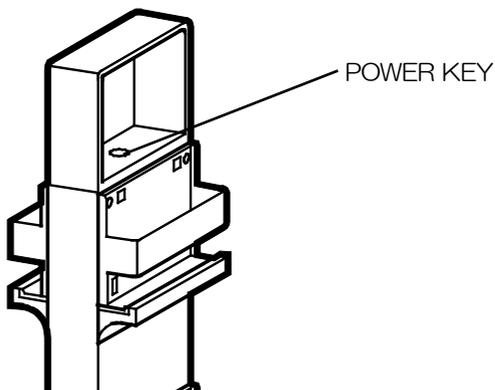
シーンを登録する	登録したい明るさに調整し、リモコンの1～3のいずれかの「シーンボタン」をリモコンのLEDインジケータが点滅するまで押し続けます。
シーンを呼び出す	「シーンボタン」を押します。 それぞれの「シーンボタン」に登録された、明るさに変更されます。

本体の「POWER KEY」で操作する

本体の「POWER KEY」で、取り付けたKANEKA LUCE T1の点灯／消灯、明るさの調節ができます。

ご注意

本製品の「POWER KEY」は、取り付けたKANEKA LUCE T1の点灯／消灯、明るさの調節を行うためのもので、本製品の電源のオン／オフをするためのものではありません。本製品は、電源接続時は常に通電状態となります。

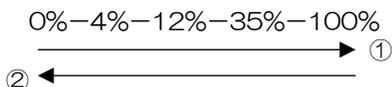


●点灯する／消灯する

点灯する	「POWER KEY」を押します。
消灯する	「POWER KEY」を2秒以上押し続けることで、現在の明るさの設定に関わらず消灯します。 次に点灯したときは、消灯前の明るさで点灯します。

●明るさを調節する

「POWER KEY」で明るさを調節することができます。「POWER KEY」を押したときの明るさの変化は、本製品の状態により異なります。。



- ・ 0%から「POWER KEY」を押すごとに、①の方向の明るさに変化します（明るくなる）。100%になった後は変化の向きが逆になり②の方向になります（暗くなる）。
- ・ 消灯状態から点灯した後や、前回の操作から60秒以上経過してから操作した場合は②の方向に変化します。
- ・ 明るさが4%の場合のみ動作が他と異なります。4%の状態では消灯した場合、点灯後は①の方向に変化します。また、4%の状態では60秒以上経過した場合でも変化の向きは変わりません。

例1：明るさが0%のときに「POWER KEY」を60秒以上の間隔を開けずに3回押すと、明るさは35%になります。

例2：例1の操作後、60秒以上経過してから「POWER KEY」を押すと、明るさは12%になります。

KANEKA LUCE T1の明るさ設定について

本製品に取り付けたKANEKA LUCE T1の明るさは、本製品と電源の状態などにより、次のように設定されます。

●取り付け時

本製品が電源に接続されている場合は、本製品で設定している明るさで点灯します。

本製品が電源に接続されていない場合は、取り付け前の明るさを維持します。
本製品を電源に接続すると、本製品で設定している明るさに変更されます。

●本製品に取り付けて使用中

本製品で操作、設定した明るさで点灯します。
停電やACアダプタが外れたなどの理由で、本製品への電源供給が止まった場合は消灯します。その後、電源供給が再開すると、切断前の明るさで点灯します。

●取り外し時

本製品から取り外すと消灯します。
取り外し後、電源を入れると、本製品から取り外す前の明るさで点灯します。

5 お手入れについて

本体のお手入れは電源を切って、発光部やその周辺の温度が下がったことを確認してから行ってください。

- ・ 本体を水洗いしないでください。
- ・ 本体金属部分をクレンザー、たわしで磨かないでください。キズや腐食の原因になります。
- ・ 本体は乾いたやわらかい布でふき取るか、薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませて、良く絞ってから汚れた部分を軽くふき取ってください。
- ・ 本体のお手入れには、アルカリ性、弱酸性、塩素系洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、殺虫剤などを使用しないでください。

6 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
取り付けたすべてのKANEKA LUCE T1が点灯しない	電源プラグが外れている	・ 電源プラグをコンセントに差し込む
	DCプラグが外れている	・ ACアダプタのプラグを、DC線のDCジャックに差し込む ・ 本体とDC線の接続を確認し、外れている場合は接続しなおす
取り付けた一部のKANEKA LUCE T1が点灯しない	KANEKA LUCE T1が正しく取り付けられていない	・ 点灯しないKANEKA LUCE T1を取り外し、もう一度取り付ける
	KANEKA LUCE T1が故障している	・ 点灯しないKANEKA LUCE T1にUSB ACアダプタを接続して点灯するか確認する ・ 点灯しないKANEKA LUCE T1を、別の取り付け部に取り付け、点灯するか確認する
	本製品が故障している	上記の確認をして、KANEKA LUCE T1が点灯する場合は本製品の故障が、KANEKA LUCE T1が点灯しない場合はKANEKA LUCE T1の故障が考えられます。 販売店にご相談ください。
リモコンで操作できない	リモコンの乾電池が消耗している	・ リモコンの乾電池（単4型乾電池2本）を新しいものに交換する
	本体とリモコンの間に障害物（人体、金属など）などがある 本体とリモコンの距離が遠い	・ 障害物が入らないようにする ・ 本体とリモコンをできるだけ近づけて操作する
	無線LANや電子レンジ、その他電磁波が発生している場所で使用している	・ 無線LAN機器を本体およびリモコンから離す ・ 近い距離で使用する場合は、無線LAN機器の電源を切る ・ 電子レンジの電源を切る ・ 本体とリモコンをできるだけ近づけて操作する
	本体とリモコンのペアリングが無効になっている	・ ペアリングの設定をおこなう（「本体とリモコンをペアリングする」（→ p.15））

7 製品仕様

仕様

●本体

電源	ACアダプタ※1（入力 AC100V 50/60Hz共用）
消費電力	約60W（KANEKA LUCE T1 10台充電時）
本体サイズ	280mm（W）×1,008mm（H）×200mm（D）
本体重量	5,400g（本体のみ） 8,400g（KANEKA LUCE T1 10台取り付け時）

※1： ACアダプタおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。付属品のACアダプタおよび電源コードの型名は次のとおりです。

- ACアダプタ（型名：UNI390-2437）
- 電源コード（型名：6WAK42722JPO2P）

ご注意

ACアダプタおよび電源コードについて

この製品に同梱されたACアダプタおよび電源コードは、この製品以外の電気機器には使用できません。

●リモコン

通信方式	無線式
使用周波数帯域	2.4GHz（2.4000GHz～2.4835GHz）
最大操作可能距離	約10m（可能距離は目安です。周辺環境により操作可能距離は変化する場合があります）
電源	単4乾電池2本

8 保証とアフターサービス

保証とアフターサービスについて

本製品の保証、使い方、お手入れ・修理などのアフターサービスについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

KANEKA LUCE F2-WH/BK/BZ/MS 取扱説明書

Document No. OBK-711-001/001

2017年3月初版

Printed in Japan

© Kaneka Corporation 2017

株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。

株式会社カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32（アーク森ビル）

TEL (03) 5574-8009 FAX (03) 5574-6161